

# 広報おうら

平成22年4月号 No.523

毎月1日発行

From editors

## ひとりごと

▼春、1年の中で最も穏やかな季節がやってきました。草木が芽を出し、花々が咲き始める季節。入学式などの出会いの季節。そして花粉の季節。日も長くなり、徐々に暖かくなってきて、寒いのが苦手な私にとっては一番好きな季節ですが、最近花粉が…。▼「広報おうら」の誌面を5月号からリニューアルして、より見やすくしたいと考えています。お気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。(多)



写真と文

厚川小一（エッセイスト）

## ふる里の歳時記

(112)

あしもとに故郷

連載  
第二百三十九回

樟若葉城主の盛衰垣間見ゆ（鶴古城跡）  
厚川 小一

## 若葉映ゆる

今年は、一月に入つて予想外に寒く、芽立ちの早い二ワトコが、だいぶ遅れて丸い芽を開いたのは、三月上旬であつた。フキノトウは、わが家の一番寒い所にあるが、遅れることなく二本顔を出した。

フキノトウは雪の下でも、季節をたがわず出るほど強いて、私たちは子どものころから春の使者として、珍重したものである。今では見るだけになつてしまつたが、このフキノトウが出ると、蕗味噌や天ぷらをつくるかたがおられ、時にはいたゞくことがある。また、薬用としても広く利用された。せき止めや痰切りなどに効果があり、特有の苦味は消化不良および食欲促進作用があつたようだ。私の母は胃弱の悩みをだいぶ和らげると言つて、たくさん持ち込んでいた。

この花が終わると茎立ちしたものを見下ろして用いていたのを私はまだ覚えている。長い間、私たちの村は無医村、そして薬屋もなかつたので、野山の薬草は貴重な存在であった。例えば、庭隅のゲンノシヨウコ、ドクダミ、キキョウの根、センブリなどを山採りし、軒下に陰干して大切に保存していた。

私の庭の躑躅は雄株のようで黄白色の花芽だが、雌株は花が白っぽいので見分けら

れる。雌雄異株であることを私が知ったのは、つい最近のことである。今ではスーパーで促成栽培したタラの芽が早くから売られているが、山道に危ないほどあつたの芽が出ると、やたらと摘んでしまうので、残った棘の棒だけで何とか生きていはるが、潜在芽まででなくなつてている。——たらの芽のとげだけでも喰はれけり——という一茶の句があるので、ついぶん昔から食用として、珍重されていたようである。

芽が出ると、やたらと摘んでしまうので、残った棘の棒だけで何とか生きていはるが、潜在芽まででなくなつてている。——たらの芽のとげだけでも喰はれけり——という一茶の句があるので、ついぶん昔から食用として、珍重されていたようである。

熊谷の夕日まばゆきひばりかな 蕪村

私が夕陽をいつも見るのは、熊谷方面をバックにした丹沢山塊や秩父連山で、夕陽というより夕茜である。特に荒川堤と利根川堤で見る、この山並みはほとんど変わらないが、河川敷が違うので赤岩より熊谷の方が明るい。最近、特にひばりが少なく、茜の空に線を引く飛行雲しか見られなくなつた。

蕪村は旅の折、たまたま通りかかった熊谷宿で、夕日の中のひばりに足を止めたのである。夕ひばりが、この一句から響いてくるようである。どうして私たちの麦畑で、ひばりが少なくなつてしまつたんだろうか。ひばり野といわれる広い秋妻、荒金田んぼを、私は昨年三回ほど車で移動してみたが、揚雲雀の声を聴くことも姿を見るとなつてしまつた。

ひばりが急上昇するのを「揚雲雀」、急降下するのを「落雲雀」、空高くさえずりながら遊ぶさまを「舞雲雀」といい、いずれも風雅な呼び名である。このほか俳人は「朝雲雀」、「夕雲雀」、「雲雲雀」などという言葉を巧みに用いて、詩趣を高めている。雲雀のさえずりは、繩張りの宣言に当たるが、そんな裏は少しも見えない美しい声である。

春を待つ円らな瞳やランドセル 新井政子

三年間の幼稚園生活を終え、今年は二人目の曾孫の入学である。ランドセルも机もそろつた。車の送り迎えから自力で通学になるが、心配なさそうである。私たちの時代と比べるまでもなく、ピカピカの一年生である。木綿の風呂敷に国語読本、黒っぽい算術と修身の三冊を腰にしばりつけ、入学した私の時代は昔の物語に近いが、今はお忘れることはない。一人の曾孫が肩を並べて、玄関を出る日を待ちにしている。

## まちの風景



電線橋付近の菜の花(下中野)

Photo 広報担当者

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。



携帯用URL  
<http://www.town.ora.gunma.jp/k>

編集・発行

邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

■ 0276-88-5511 (代表)

■ 0276-47-5007 (企画課直通)

FAX 0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>  
E-mail koho@town.ora.gunma.jp